

血糖値は“上げすぎない”、  
“下げすぎない”ことが大切。

10月8日

糖をはかる日

TM



## 糖をはかる日2020 Web講演会

公開中!

<https://dm-net.co.jp/10-8/2020websem.php>

●特別プログラム:新型コロナウイルス感染症と糖尿病 公開中!

「新型コロナウイルス感染症と糖尿病」

「PHR、遠隔診療を利用した糖尿病/血糖コントロール一点から線の診療へ」

●血糖コントロールとQuality of Life(QOL) 10月8日公開

「糖尿病による痛みやしびれ、放っておいてはいけない神経障害」

「高齢者2型糖尿病患者の管理—血糖コントロールとQOL」



詳しくは、

糖をはかる日

で検索してください。

<https://dm-net.co.jp/10-8/>



# 「10月8日は、糖をはかる日」とは

「10月8日は、『糖をはかる日』」啓発活動は、糖尿病患者さんの早期発見と、早期からの適切な治療の開始・継続を目指し、まずは多くの方に「血糖」や「血糖値」と健康との関わりを知っていただくため、2016年より開始されました。



いま、通院治療していない糖尿病患者さんは、**全国に200万人以上もいると言われています。**



2016年国民健康・栄養調査報告(厚生労働省)\*  
\*1 糖尿病が強く疑われる者(糖尿病有病者)：ヘモグロビンA1cの測定値がある者のうち、ヘモグロビンA1c(NGSP)値が6.5%以上、または、「糖尿病治療の有無」に「有」と回答した者  
\*2 糖尿病の可能性を否定できない者(糖尿病予備群)：ヘモグロビンA1cの測定値がある者のうち、ヘモグロビンA1c(NGSP)値が6.0%以上、6.5%未満で、「糖尿病が強く疑われる者」以外の者  
\*3 現在治療を受けている人：「糖尿病が強く疑われる者 1,000万人」に同調査報告「治療の状況」より「現在治療を受けている 76.6%」を乗じ算出  
\*最新の報告(2018年)では、糖尿病が強く疑われる者は、この10年間で男女とも有意な増減はみられず、年齢別にみると、年齢が高い層でその割合が高い(男性50歳以上、女性60歳以上)としています。



2型糖尿病の早期発見、重症化予防に、**目を向けることが大切です。**

下記のような方は、とくに定期的な血糖検査が重要です。

- 肥満者
- 運動不足
- 糖尿病の家族歴
- 妊娠糖尿病か巨大児出産の既往
- 高血圧症
- 脂質異常症
- インスリン抵抗性をきたす疾患
- 心血管疾患や耐糖能異常の既往



また、「10月8日は、『糖をはかる日』」にあわせ、**裏面のポスターをぜひ掲示ください。**

血糖測定の重要性啓発にご協力をお願いいたします。



## 10月8日は、糖をはかる日

<https://dm-net.co.jp/10-8/>

公式サイトには、「血糖値」に関する啓発情報や無料でダウンロードし利用できるポスター、リーフレット等(PDF)をご用意しています。患者さん指導の際、ぜひご活用ください。

共催：糖尿病治療研究会・糖尿病ネットワーク・糖尿病リソースガイド  
後援：日本臨床内科医会